

参加記

横浜支部・接遇マナー講演会

「選ばれるクリニック」で
あり続けるために

既報のとおり、横浜支部は8月25日に「スタッフ向け患者接遇マナー講演会」を開催した。当日は定員超えの89名が参加する盛況ぶりだった。今回、参加者の方から感想が届いたので掲載する。

やっぱり温もりが
肝心!

港北メデイカルクリ
ニック 松尾 敏子氏

そして手当て(人の温もり
=マンパワー)である事を
改めて、認識いたしました。

「マナーは、知識だけでなく、行う事が大切です」の
お言葉通り、講師の伊東先
生は正しい姿勢・常に笑顔・
優しい視線と言葉遣いを実
践で教えてくださいます。
た。先生と受講者のコミュニ
ケーションは「心地よい
空間」ができ、ぐいぐいと
講習に引き込まれました。
「患者様から信頼され選
びられるクリニック」であり
今までも多くの講習会に参
加して、知識は身に付いて
いるつもりでしたが、患者
様がスタッフに求めている
ものは、心遣いや思いやり、
務に活かしたいと思いま
す。

読者のひろば

川柳



横浜市港南区 久保 修一

五輪でも誤審で人生泣き笑い
救急車乗って来たんだ早く診て
風紋と妻の機嫌は直ぐ変わる
厄年は8の倍数?
ちよと違う(養命酒)

病気瘦せダイエットかと友が訊く

神奈川県保険医協会創立50周年記念

「日本医療再生の懸賞論文」募集

救急現場での勤務医の疲弊、小児科・産婦人科の不足の一方で過重な窓口負担による患者さんの受診手控えや治療中断など「医療崩壊」は深刻です。政府の税・社会保障一体改革では未来は明るくありません。当会は、「日本医療再生の具体的提言」の論文を公募し、将来の医療の展望を拓く一助にしたいと考えております。どなたでも結構です。奮ってご応募ください。

論文のテーマ 「日本医療再生の具体的提言」 (*特徴を表す副題を各自付けてください)

応募資格 個人、研究室、グループ等 (共同執筆は一点扱い)

応募要領 ■日本語で作成された、未発表のものに限ります。
■ワープロによる作成 (A4版) のもの (*1枚につき1,000字~1,500字程度。基本的に「横書き」) で、字数は20,000字~25,000字 (*図表、統計類などの添付資料は字数に含まない) とします。
■応募 (エントリー) の受付後に論文を提出してください。
■詳細は当会ホームページ <http://www.hoken-i.co.jp/> もしくは、下記「お問合せ」まで。

応募期限 ○応募 (エントリー) 期間 2012年10月1日~12月31日
○論文提出の締切 2013年6月30日 (消印有効)

賞金 ①入選 (1論文) 100万円
②佳作 (1論文) 20万円

授賞対象 国民と医療現場へ資する
実行性、有効性、現実性をもつ論文に授与する

審査委員 ○高瀬 高明氏 (共同通信論説委員)
○田辺 功氏 (医療ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)
○池川 明氏 (神奈川県保険医協会理事長)

発表及び表彰 2013年9月の発表ならびに同年10月の表彰を予定しています

懸賞論文の提出先 住所: 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビルディング2F
宛先: 神奈川県保険医協会「創立50周年記念」公募論文事務局

「医療崩壊」からの
脱却へ
医療の未来を拓く
英知の結集を!

主催 神奈川県保険医協会
お問合せ 神奈川県保険医協会事務局 (担当: 高橋・鈴木(祐))
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビルディング2F
(☎045-313-2111、☎045-313-2113)